

ウーテーウ、USDP 副総裁、
ミンスエ ヤンゴン管区首相
沼田 駐ミャンマー特命全権大使
ソーラミン 会長

本日は「ミャンマー日本協会」設立、大変おめでとうございます。

私、日本ミャンマー協会会長、渡邊秀央は日本の公益財団法人「世界平和研究所」中曽根会長の代理として「日本・韓国フォーラム」の団長として仙谷由人元日本国官房長官と共にソウルを訪問しフォーラムに出席する事が、従前より決まっておりました誠に残念ですが、ご招待頂いたにも係らず、本日のお祝いの会に出席することができず誠に申し訳なくお詫びを申し上げます。

私ども日本ミャンマー協会は、お蔭さまで設立から1年半が過ぎました。

「日本ミャンマー協会」は両国関係の多岐にわたる分野において着実に交流を発展させていくために、民間の投資、貿易の拡大、技術協力・支援など経済発展策の検討、また、学術・文化交流の推進、加えてウィンウィンの戦略的関係の構築を実現するために重要な役割を果たして行かなければならないと考えます。

日本とミャンマーとの未来志向の緊密な信頼関係の構築は、我々と本日発足いたしました貴協会の責任として果たしていくべき重要な課題だと考えます。これを機会に、この目的意識を共有して、強固な信頼関係の図って行く様お互いが努力して行く事が肝要だと考えて居ります。

私は、1988年中曽根内閣の官房副長官として、マウン・マウンカー首相を日本にお招きし、当時のミャンマー支援のための策定に携わった一人でありました。

以来、中曽根元総理大臣からは、日本とミャンマーとの関係を大切にして両国の信頼と人間関係を構築して行くのは「日本の政治家としての君の役割である」とのご指導のお言葉と励ましのもと今日まで努力いたして参りましたが、事実上の両国の正常な外交関係とは言えない体制の中で思うに委せず、忸怩たる思いで今日まで20年余の歳月が過ぎた次第でありました。

しかし、その間ヤンゴン空港の一部改修、バルーチャン水力発電所の送電線設備の補修、JICA 病院の医療機器の修復、B型肝炎対策とそのための献血車の提供等の出来るだけの努力は続けて参りました。

また、2008年4月には、サイクロン・ナルギスにより有史以来の多大な被害を受けたミャンマーをお見舞いを申し上げるため訪問し、首相に就任されていたテイン・セイン氏と久しぶりに面談し旧交を深めました。その折、私から5月に新憲法の是非を問う国民投票が国際世論が注視して居る中で無事実施、成功された事、当時の軍政の最高責任者であるタン・シュエ議長に心からの敬意を表した事を思い起こします。その時、私はミャンマーは民主化に向けたプロセスを確実に実行しているとの確信を得るに至りました。

以来、たびたびのミャンマー訪問でこの 20 数年の空白を埋めるべく、日本の協力支援策について、当時のテイン・セイン首相をはじめ政府首脳の方と話し合いを続けてまいりました。

私は、今さらの感ではありますが、ミャンマーの国民をはじめ政府に携わられている方々の日本への期待は大変大きく熱いものが有り日本の支援の重要性を改めて痛感しました。

2011 年 10 月、新政府誕生とテインセイン大統領就任をお祝いするために訪問した際、大統領から夕食に招かれ、日本の支援策について話し合いをしました。大統領は、ヤンゴン近郊ティラワを経済特区をミャンマーの経済発展の原動力にしたい。そのために日本からの協力支援を期待したいとのお話を頂きました。以来、私はこのティラワ特区開発事業が日本の新生ミャンマーの建国に向けた協力と支援の象徴として具現化して行く事が、今後のミャンマーの発展の第一歩であると認識して、その具現化に向けて努力してまいりました。幸いにも、近々、開発に向けた合弁企業の調印式が行われるとの事、具体化の実現に向かって進んでいることは両国にとって大変喜ばしい事であります。

当協会では、ミャンマーの民主化の進展と経済開放路線堅実な進捗も有って、連日日本企業やミャンマー進出を模索している方々からの相談等が絶えません。

私どもの活動により、ミャンマーの政府関係者、経済界、教育機関等へのネットワークを構築し、友好関係の深化、信頼醸成に努めてきた成果を評価頂き、会員企業も 100 社を大きく超えて来ております。有り難い事です。

こうした状況の中で、我々のカウンターパートナーとして「ミャンマー日本協会」が設立されたことは大変喜ばしいことであり、今後の両国間の絆がさらに強化されることと確信いたします。

さらに、会長にご就任された SawHlaMin (ソーラーミン) 様は駐日ミャンマー大使のご経験があり、また、役員の方々も日本をよく知る方や企業の方々からの就任をいただき、ミャンマー側で強力な後ろ盾が誕生したと申し上げてよいと思います。そして更に幅広い情報の共有と、信頼のおける関係の構築に努力して行く、心強パートナーに成って頂けるものと、ご期待申し上げると同時に、御願ひする次第であります。

私は、日本とミャンマーのため、これからも様々な活動に邁進して参ります。ご参集の皆様と心を一にして、一層努力をして参りますので、今後とも何卒熱い友情と、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ミャンマー連邦共和国大統領閣下のご健勝と国家の発展を心よりお祈り申し上げ私の祝辞といたします。

2013 年 10 月 6 日

一般社団法人 日本ミャンマー協会
会長 渡邊 秀央